

総合教育会議

美里中学校との 探求授業連携について

背景

現状・課題・事業の方向性

無関心層の取込み

- 町の事業に参加できていない約70%の健幸無関心層へのアプローチ必要
- 若い世代の参加率が低い
- 将来的な町民の健康、こどもに対するのアプローチが必要となる。

既存参加者の活動の減少

- 健幸ポイント事業や運動教室などの健康づくり事業に参加している人も参加時から数年以上経過しているため、モチベーションや活動量が減少している。

既存コミュニティの衰退・減少

- 人生100年時代が到来するなか、地域コミュニティでの活躍が期待させるが、既存のスポーツや文化団体など高齢化しているとともに新型コロナウイルス感染症拡大以降、人と人の関わりが減少し、地域コミュニティの低下が著しい



～将来的に今の子どもが大人になったとき何らかの形で美里町に関わってもらえると理想～

学校や保育園などと連携する目的

成果を期待するには、多くの住民に参画してもらうことが必要。

今回の施策は、子供を起点として親世代、祖父祖母世代に広げていく計画。

今までの告知方法である、町広報で子供世代・働き世代に募集をかけてもなかなか情報が届かない。

「届ける」「参画者を増やす」ためには、学校・保育園に講師を送り込み、先生・保護者・子供と接点を持ち、町の取組みを会話ベースで届けることが重要と考える。

美里町の人口・高齢化率推移



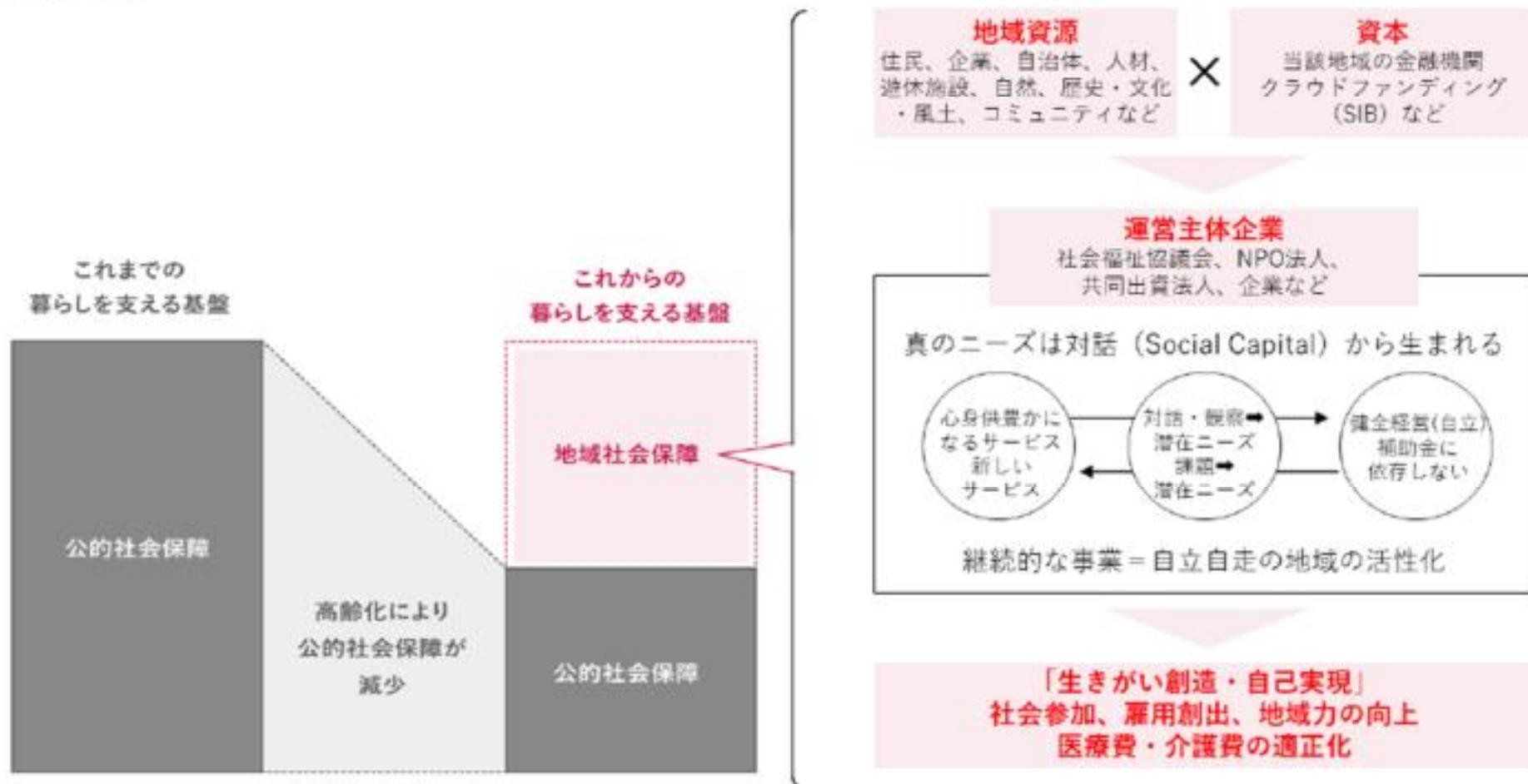
参考: 国立社会保障人口問題研究所

【まち創り包括支援】2040年を見据えた持続可能なまちづくり

2040年は、世代間の不均衡が著しい水準に達し、1.5人の現役世代が1人の高齢世代を支える状況になります。

そこで、これまでの公的社会保障に加え「地域資本で生み出す地域社会保障」を組み合わせ構築して必要があると考えています。

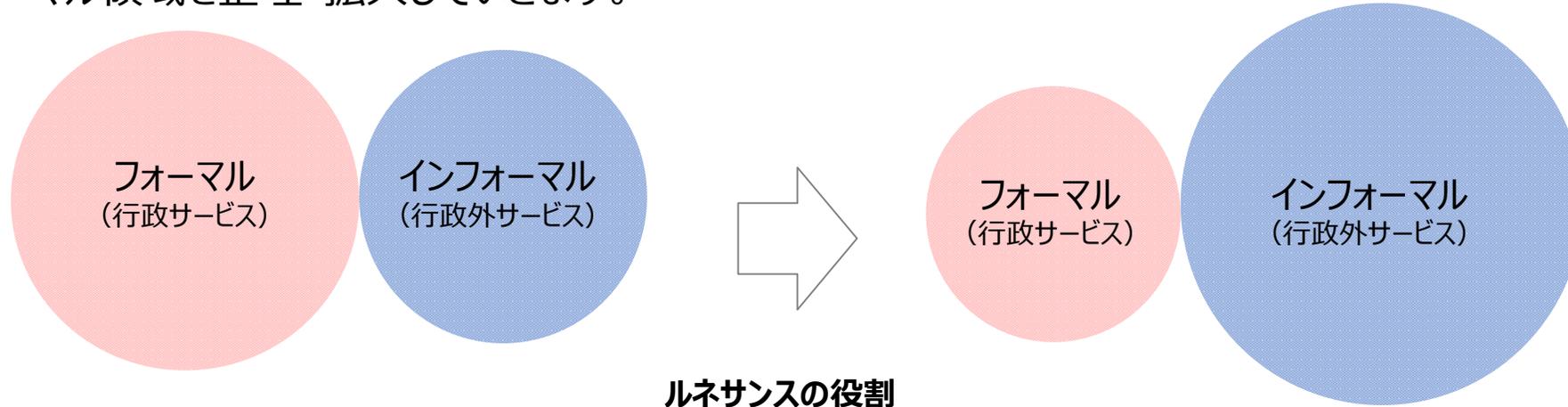
「地域社会保障」は、自立・社会参加（ソーシャルキャピタル）を核に、あらゆる世代の人々がいきいきと充実した暮らしをしていけるための基盤です。



私達は、「経済」「社会」「環境」の資源と課題を連動・循環させながら、これまでの公的社会保障に「その地域で生み出す地域社会保障」を加え、地域が主体となった持続可能なまちづくりを支援していきたいと考えています。

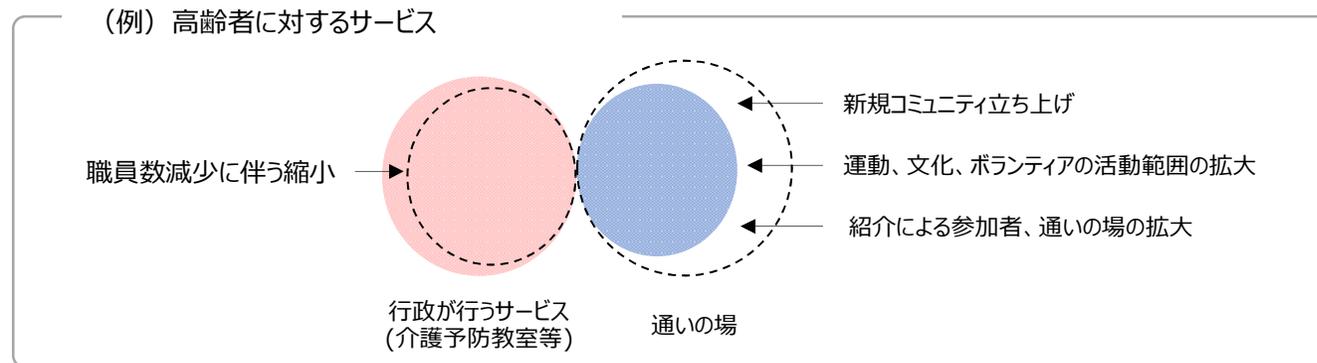
地域活性化起業人の役割

限られた予算、かつ、限られた行政職員の人数で行政サービスを提供しなければいけません。地域活性化起業人が地域に入り込み、「情報の収集と集約」「インサイトの発掘」「行政と地域をつなぐ」「機会の提供」「参加支援」「住民の力を引き出す」ことで、インフォーマル領域を整理・拡大していきます。



ルネサンスの役割

情報の収集と集約、インサイトの発掘、行政と地域をつなぐ、機会の提供、参加支援、住民の力を引き出す



地域共生社会

住民のニーズは多様化・複雑化しており、人口減による担い手の不足やつながりが弱まっている現状を踏まえ、人と人、人と社会がつながり支え合う取組が生まれやすいような環境を整える新たなアプローチが求められています。

地域共生社会とは

制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、
地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が
世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会を指しています。



重層的支援体制整備事業について

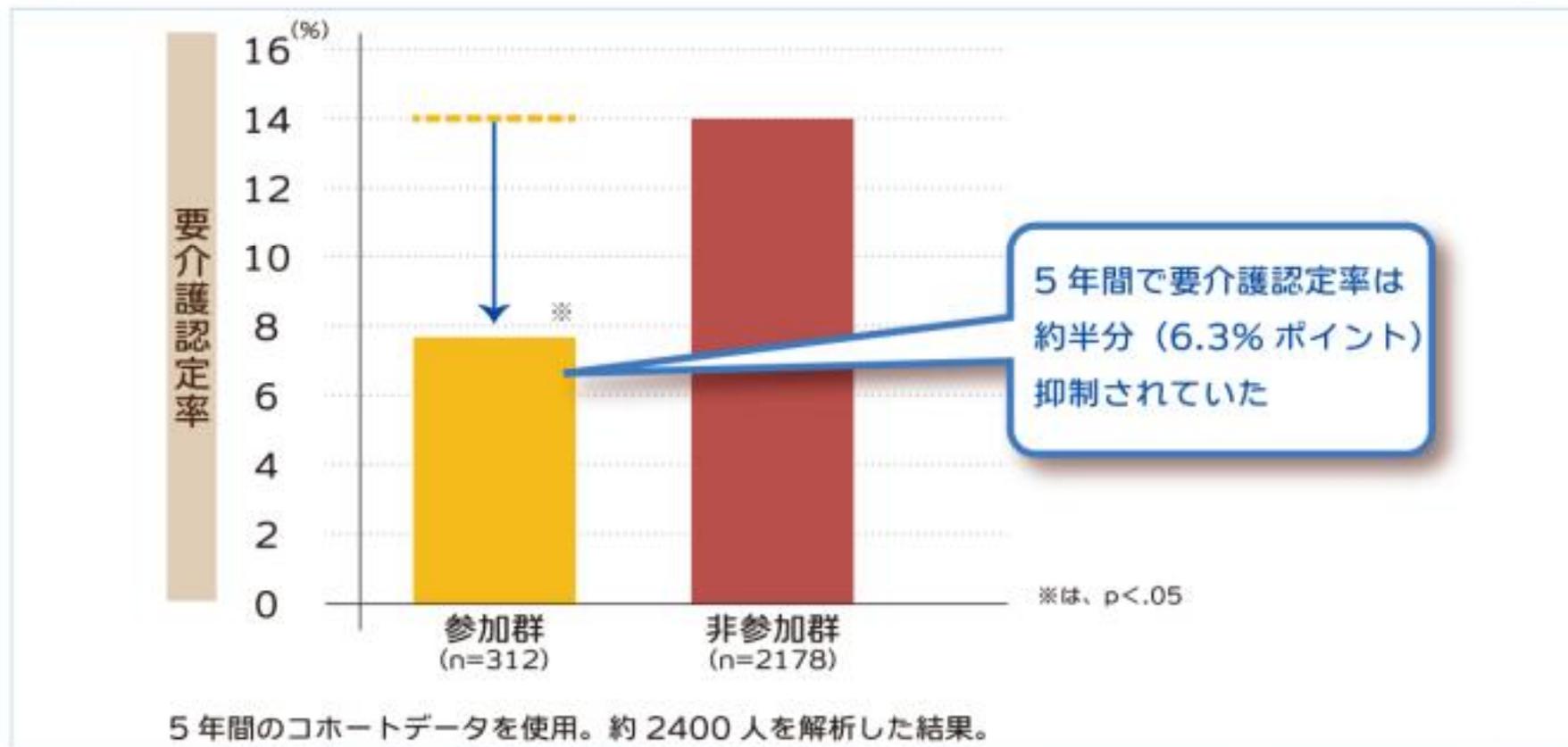
地域共生社会の実現を目指すための体制整備事業として、「案件を問わない相談支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」を一体的に実施する新たな事業が、令和3年4月からスタートしました。
※実施を希望する市町村による任意事業

市町村全体がチームになり、3つの支援を一体的に実現する



サロン参加群で要介護認定率が低い ～ 5年間の追跡した結果～

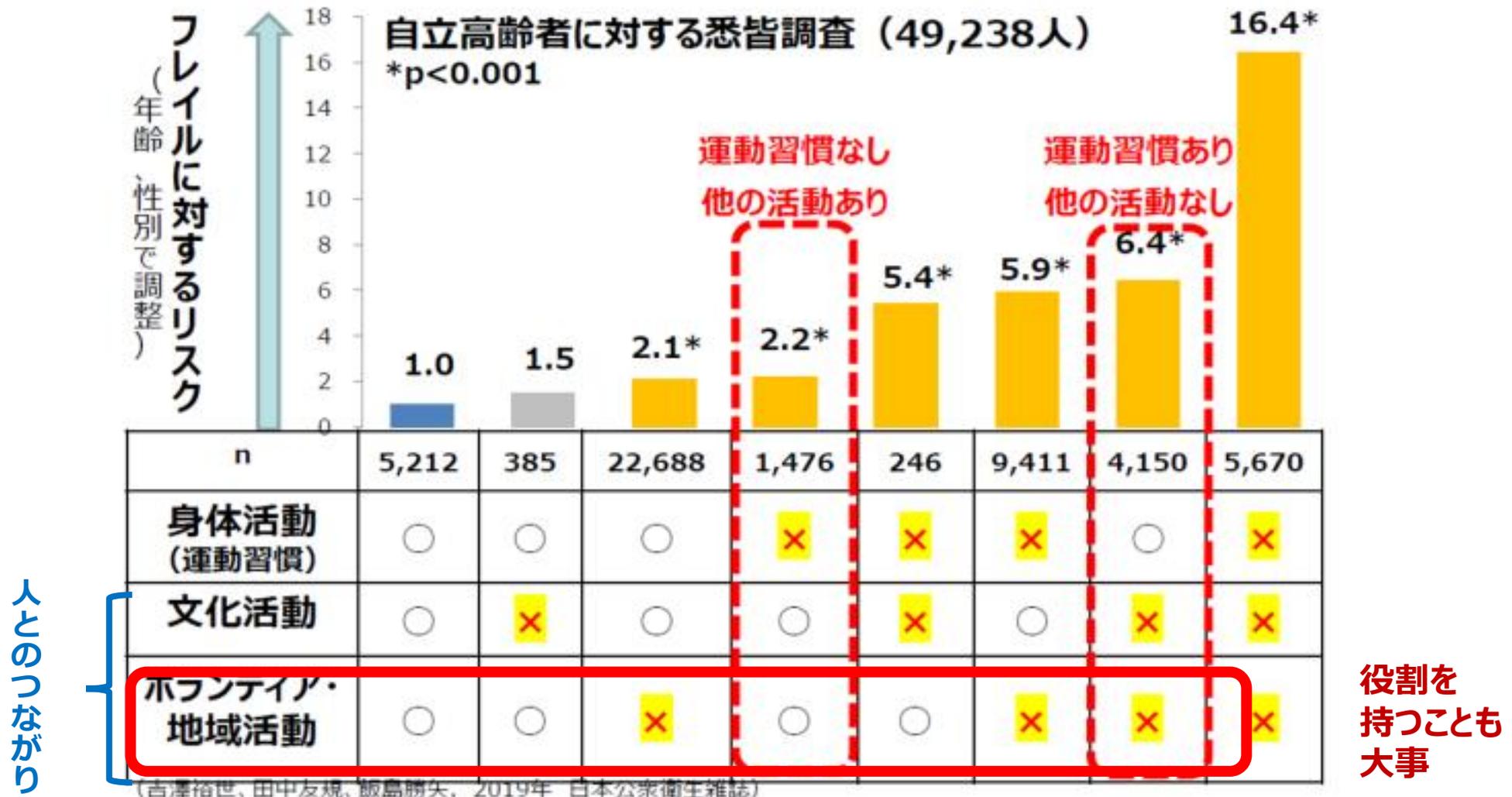
2007年から2012年までの5年間の要介護認定率を参加群と非参加群で比較した



Hikichi H., Kondo N., Kondo K., et al. (2015) Journal of Epidemiology and Community Health (doi: 10.1136/jech-2014-205345) Press Release NO:095-16-25

フレイル予防には「人とのつながり」が重要

様々な活動の複数実施とフレイルへのリスク



人と人との関係性や繋がりを、資源としてとらえて評価する考え方

人と人との**繋がり**

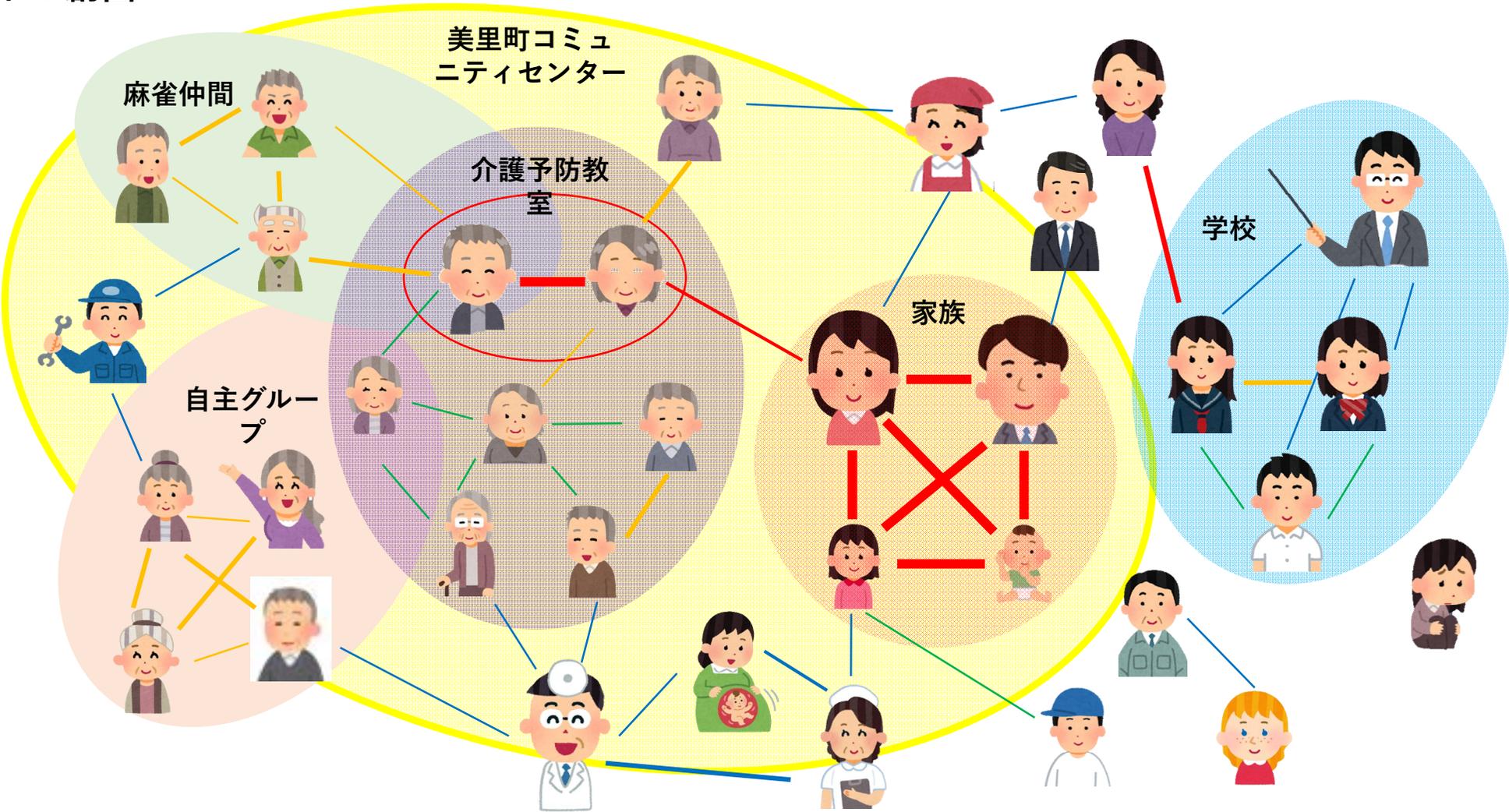
個人と個人
個人とコミュニティ
コミュニティとコミュニティ
コミュニティの創出

人と人との**関係性**

顔を知っている
あいさつはする
立ち話をする
一緒に〇〇する
お裾分け・情報交換する
家を行き来する

人と人のつながり

コミュニティの創出



ソーシャルキャピタルとシビックプライドの醸成

両者の関係性

シビックプライドがソーシャルキャピタルを強化する

地域への誇りが高いと、住民は互いに協力しやすくなり信頼関係が深まる

ソーシャル
キャピタル

人と人とのつながりや信頼関係
協力のためのネットワーク

相互作用による地域の発展

シビックプライドとソーシャルキャピタルが高い
地域ではコミュニティの結束力が強くなり、
住民主体の取り組みが活発化する

まちづくり

地域活性化

シビック
プライド

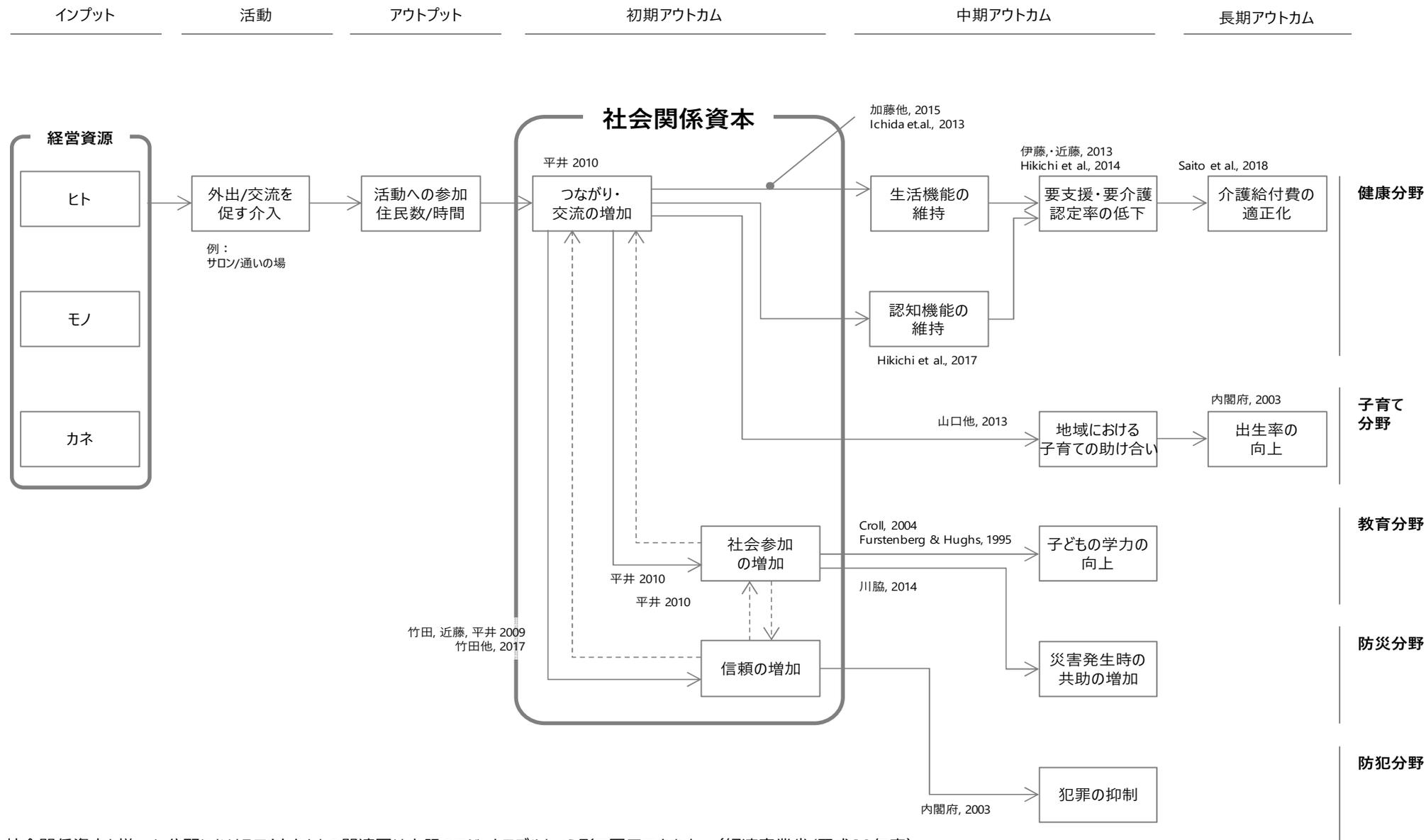
地域に対する誇りや愛着

ソーシャルキャピタルがシビックプライドを育む

地域の人々がつながり、協力し合う環境が整うと、住民が地域への愛着や誇りを感じやすくなる

(参考) コミュニティーを起点にした“まちづくり”ロジックモデル

「賑わい創出」=「つながり・交流の増加」に資する取り組みを実施することにより、健康分野をはじめ子育て分野等の様々な分野で成果が期待されます。



※社会関係資本と様々な分野におけるアウトカムとの関連図は上記のロジックモデルという形で図示できます。(経済産業省/平成30年度)

今年度、生涯学習係は、こども世代を起点として活動することを目指し、

「健康づくり」・「人と人の繋がり」・「地域に対する誇りや愛着」

を高めることを目的として、保育園・こども園、小学校、中学校を訪問

保育園・こども園での取り組み

■今年度の取り組み状況

項目	内容
目的	遊びを通じた運動機能の向上 こどもたちの自ら遊ぶ力を育むこと 保育士に対するリテラシー向上・遊ぶ引き出しを増やすこと
対象	4 保育園・1 こども園の年長
内容	リズム遊び、子どもたちの主体的な遊び
子供の様子	回数を重ねるごとに積極的な発言や行動が増え、自ら学ぼうとする姿勢が見られる
保育士の反応	こどもたちの運動機能向上に関する質問が多くなってきている。また、普段の生活の中で保育士がどのようにこどもとの関わり方など講師とのコミュニケーションが増え、時間がないなかでも自ら学ぶ時間
今後の取組	こどもの健全な発育、運動機能の向上に向けて、園・親に対しての情報提供・意見交換の場の創出 保育参観時などを活用して、親子遊びを実施（1園で調整中）
副次的な効果	町で実施している事業への参加が増えた ※みゆきコーチの教室にいてみたいなど



■来年度以降の方向性について



5領域 10の姿



小学生に関する取組み

■今年度の取り組み状況

みんなであそぼう

ほうかごあそび 放課後遊び

2025年9月1日(月)～3月16日(月)
毎週月曜日 (休日を除く)

15:30～16:30

コミュニティの居場・子どもの居場所づくりのテスト事業として、生涯学習課の職員が放課後コミュニティセンターに集まる子ども達と一緒に活動をおこなっています。

会場
東野の森総合公園内
町民体育館

内容
おけしこ、ボール遊び
ポッチャ、モルック
けん玉、お手玉、コマ遊び
eスポーツ、公園内散歩など

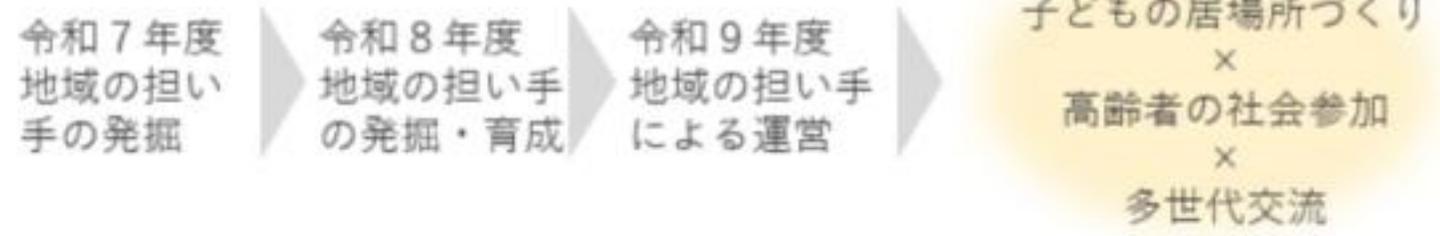
お問い合わせ
東野町コミュニティセンター
☎ 0495-76-3431
【木村(平)、毛塚(敏)】

誰でも気軽に参加できます！



	中央公民館	東児玉公民館
実施日	毎週月曜日	毎週木曜日
時間	15:30～16:30	15:30～16:30
参加人数	12人(直近)	22人(直近)
内容	eスポーツ、ドッチボール、 バドミントン、輪投げ	モルック、かくれんぼ、 ドッチビー、けん玉
備考	高齢者の社会参加、多世代交流に向けて運動教室参加者や地域の担い手に声かけを行い参加を促す。	

■来年度以降の方向性について



美里中学校探求授業の連携について

【今年度の背景】

美里町教育委員会生涯学習係：

上層部より、

これからまちづくりを進めていくうえで、生涯学習係が関わっている全住民の健康づくりを考えた時、【子供世代から健康リテラシーを高められること】を進めてほしい、また、【美里町への愛着】（シビックプライド）を高められる仕掛けを進めてほしい



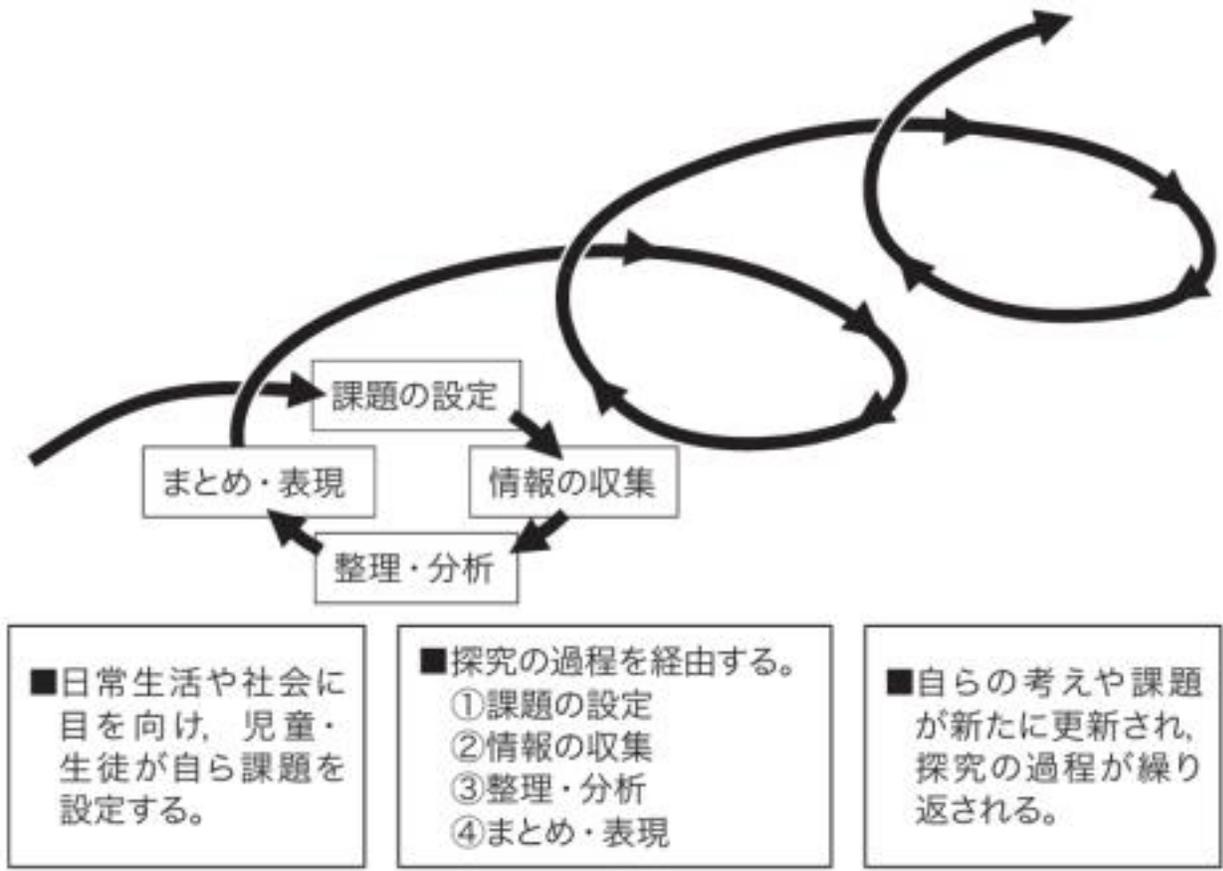
中学校：

社会人と連携し、社会人の生の声をヒアリングしながら生徒の探求授業に関する興味関心を高めていきたい。社会人との連携を考えた場合、町役場職員であれば、学校も保護者も安心できる。



【100年後も魅力的なまち】というキーワードを元に生徒が主体性をもって、美里町の課題を考える授業を今年度実施することとなった。

探究学習とは



探究的な学習における生徒の学習の姿

探究授業のポイントは、「生徒が主体的に問いを見つけ、主体的に解決する」ことで、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力・人間性」の3つの柱をバランスよく育むことです。具体的には、「興味・関心からテーマ設定」「『なぜ?』と深掘り」「『やってみる』循環学習」「安心・安全な場づくり」「校外発表も視野に」「自己・他者評価も取り入れる」などが重要です。

探求学習における町職員との連携

【授業日程】

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
①5/16			②8/29	③9/12	④10/ 3	⑥11/ 7	⑧12/ 5	⑩1/23	⑪2/ 4
					⑤10/17	⑦11/21	⑨12/19		

テーマ設定をする8/29と、授業参観での発表会をする2/4に職員を中学校に派遣。

【5つのテーマと担当課（係）】

テーマ	担当課
まちづくり（まちの活性化）	建設課
新・小中学校の活用（魅力的な学校・イベント・交流）	教育委員会事務局学校教育係
福祉・ボランティア	社会福祉協議会
歴史・伝統	教育委員会事務局生涯学習係
スポーツ・レクリエーション （地域住民・子供にとって魅力的な新しいイベント・お祭り・教室）	教育委員会事務局生涯学習係

スケジュール

(8/29)③④課題の設定 (9/12)⑤⑥情報収集の仕方

(10/3)⑦情報の収集 (10/17)⑧⑨情報の収集

(11/7)⑩⑪整理・分析の仕方

(11/21)⑫⑬「中間発表」

(12/5)⑭⑮整理・分析（中間発表を受けての修正）

(12/19)⑯⑰まとめ・表現の仕方

(1/23)⑱⑲発表会リハーサル

(2/4)⑳授業参観での発表会

ここから先の資料は、8月29日の授業で

町職員から中学生に説明した資料の抜粋です

美里町職員が探究授業に 関わる経緯

美里町を元気にしたい！

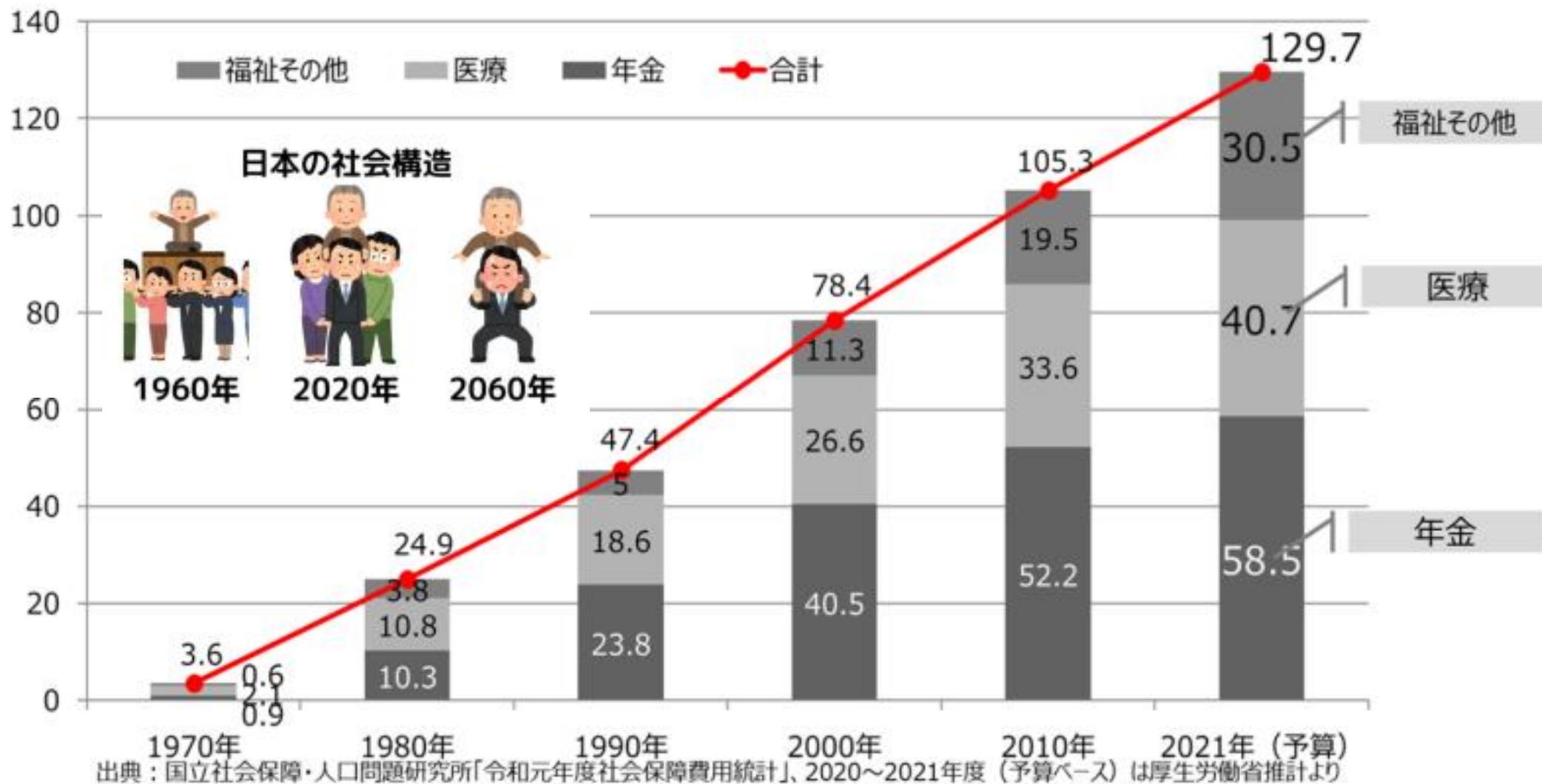
そのためには若手の力が
必要！

美里町の人口・高齢化率推移



参考:国立社会保障人口問題研究所

医療・介護等の社会保障給付費の増大



迫りくる未来を変える！
または良くする！ために
美里中学校の皆さんの
知恵と力を貸してほしい！

とは言っても、中学生の皆さんは、
町（役場）がどのようなことを
しているのかわからない・・・

だったら、職員が中学校に行って、
一緒に考えよう！

【目的】

将来社会で求められる資質・能力を育成する

【年間のゴール】

役場職員や家族に向け、「魅力的な美里町」にするための具体的な提案をプレゼンする

【今日のゴール】

それぞれが考えた「改善案」をチームで出し合い、役場・家族に提案したい題材を決める

グループで提案する案の 選定について

多くの時間をかけてせっかく
考えるなら、町の職員や家族
に **「響く！」** **内容にしたい！**

社会人の人たちは
どのような観点で
事業をしているのだろうか？

※事業・・・社会的な大きな仕事。生産・営利を
目的として経営する仕事。

例えば、

- 人の役に立つ？
- 続けられるかな？
- どれだけのお客様が買ってくれるのかな？儲かる？
- 最初に必要なお金はどうしよう？
- 自分が持っているスキルでできる？
- どうやってみんなに知ってもらおう？

1 つめのキーワード

「実現可能性」

「実現可能性」って、どんな項目があるの？ AIに聞いてみた！

【実現可能性】

1. 技術的実現可能性 (Technical Feasibility)

- 自分たち持っている技術で実現できる？
- 美里町で実現できるツール（道具・手段・方法）はある？
- 技術的な課題やリスク（危険）は何か？

2. 経済的実現可能性 (Economic Feasibility)

- 事業を始めるときのお金はどうやって集める？
- 投資したコストを回収でできるか？

3. 法的・規制的実現可能性 (Legal/Regulatory Feasibility)

- 関連する法律や規制に違反していないか？
- 必要な許認可や手続きはクリアできるか？

4. 運用・組織的実現可能性 (Operational Feasibility)

- 町内の職員と住民で体制はつくれそうか？
- 住民や利用者が受け入れやすい仕組みか？
- 人員・土地・建物・機械などは確保できるか？

5. 市場・顧客ニーズの実現可能性 (Market Feasibility)

- 顧客（町民）のニーズに合っているか？
- 継続して顧客（町民）は集まりそうか（必要とされる）？ →（商売として成り立つか）
- 市場規模や成長性は見込めるか？

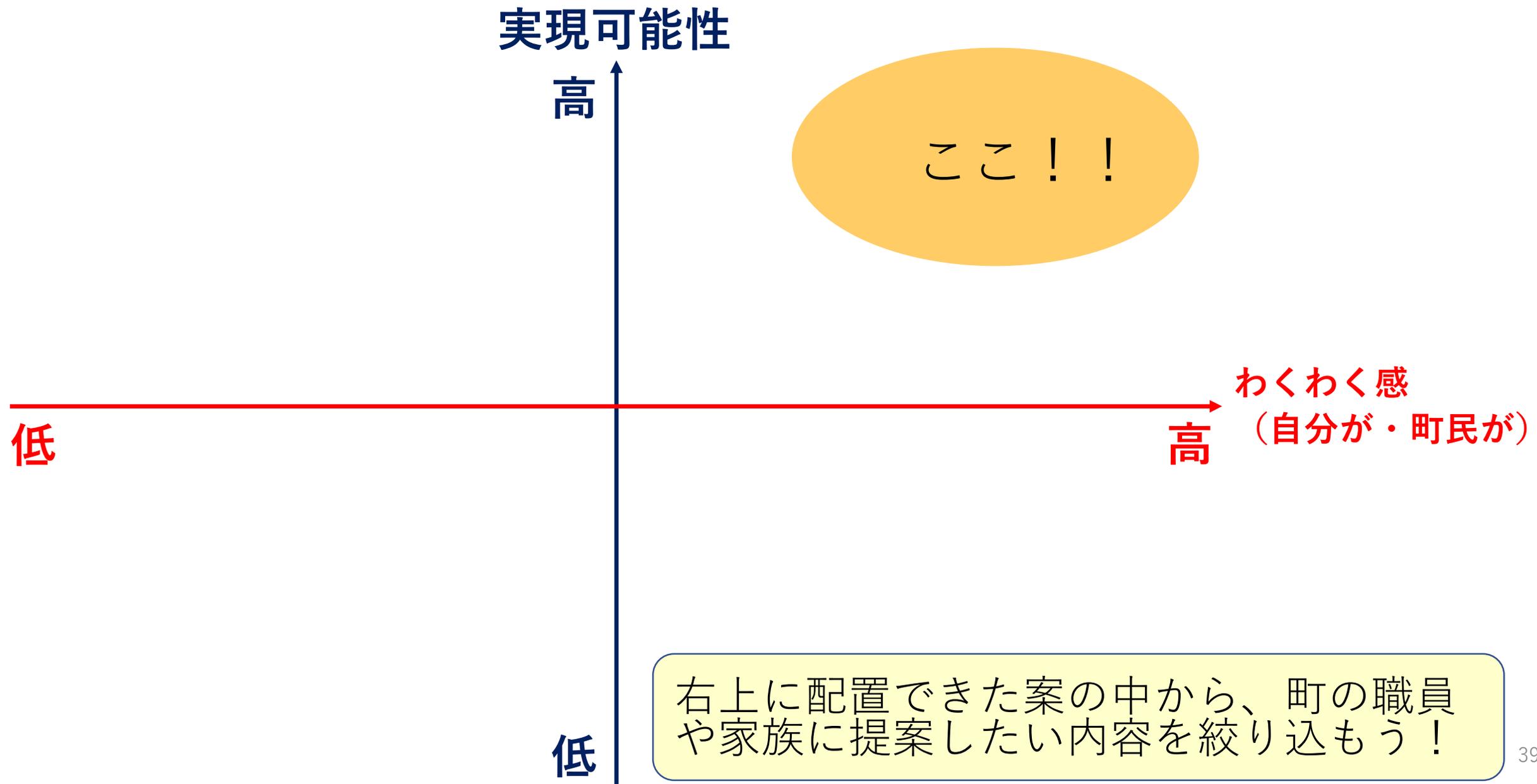
6. スケジュール実現可能性 (Schedule Feasibility)

- 目標とする納期・スケジュールで完了できるか？
- 進捗管理は誰がどうやってする？進捗が遅れたらどうする？

2 つめのキーワード

「自分や町民が
わくわくするか？」

グループみんなで考えた案を2軸の表に配置してみよう！



右上に配置できた案の中から、町の職員や家族に提案したい内容を絞り込もう！

最後に最も大事なこと

「自分ごとで考える！」

さいごに

AIが導き出したベネフィット・事例

中学生のまちづくり授業が未来を創る

地域を変える力

探求授業での学びが、地域課題を解決する実践力へと成長していきます。教室での議論が現実の変化を生み出します。

新しい視点の価値

地域の課題解決には、若者の柔軟な発想とエネルギーが不可欠です。既成概念にとられない提案が地域を変革します。

成長と未来のリンク

多様な体験を通じて、子どもたちの人間的成長と地域の持続的発展が同時に実現します。学びが社会貢献につながります。



地域社会全体への影響

高齢者・働き世代も恩恵を受ける

高齢者の生活向上

若者の地域参画により、高齢者の孤立防止や見守り活動が充実します。福祉サービスの質的向上にも若い世代の力が貢献しています。

働き世代の定着

地域コミュニティの活性化が働き世代の定着を促進し、地域経済の好循環を生み出します。子育て環境の改善にもつながります。

コミュニティ活性化

若者の新しい視点とエネルギーが、世代を超えた交流を促進し、地域全体の活力向上につながります。

授業外での高校生・若者のまちづくり参画事例

1 — 地域課題解決プロジェクト

熊谷市の高校生チームが地域の空き家問題に取り組み、リノベーションによるコミュニティスペースを創出しました。

2 — 交流イベントの成功

世代間交流イベントの企画・運営により、地域住民の絆が深まり、継続的な活動につながっています。

3 — 新規事業の創出

地域資源を活用した特産品開発や観光プランの立案により、新たな雇用機会が生まれ、若者のUターンを促進しています。

